

公安委員会定例会議(第18回)の開催状況

第1 日 時 令和3年7月14日(水)

午後1時30分 ～ 午後5時20分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、五葉委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 渡部委員説示

静岡県内での土石流被害や、日本各地で発生した大雨被害、東京都に出された4度目の緊急事態宣言など、6月末からの半月程で様々な出来事がありました。私が特にショックを受けたのは、6月28日に千葉県八街市内で発生した児童5人が死傷した交通事故です。

私は、38年間にわたり小学校の教員を勤め、子供の登下校の様子を確認してきました。在任中には、子供が巻き込まれる事故の発生こそありませんでしたが、信号待ちの子供の直近を通過するトラックや、対面する信号が赤になっても停車しない車、「通学路 速度落とせ」との看板を無視するかのように高速度で進行する車を見かけるたびに、ヒヤッとしたり血の気が引いたりすることも多々ありました。

一握りの違反者により、立場の弱い子供が被害に遭うことは何としても避けなければなりません。子供を守るために、通学路点検による危険個所の抽出や、通学路での見守り活動、速度規制など、様々かつ地道な取組を行っていますが、このような取組は継続していくことと併せて、他に子供の命を守るような画期的な方法がないか、学校や教育委員会など関係機関との連携を密にしつつ、共に考えていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和3年第17回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いが

あり了承した。

(3) 犯罪被害者等早期援助団体の規制に基づく書類提出

総務室から、犯罪被害者等早期援助団体の規制に基づく書類の提出があった旨報告があり了承した。

(4) 犯罪被害者等早期援助団体からの定期提出書類の提出

総務室から、犯罪被害者援助団体からの定期提出書類の提出があった旨報告があり了承した。

(5) 禁止命令実施結果報告

生活安全部から、禁止命令実施結果報告があり了承した。

(6) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果10件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和3年6月定例県議会の開催結果

総務室長から、6月21日から7月7日までの17日間開催された令和3年6月定例県議会の結果について報告があった。

(2) 犯罪被害者等ドッグセラピー事業の運用

総務室長から、犯罪被害者等の精神的被害軽減・回復を目的とするドッグセラピー事業の運用について報告があった。

委員から、「効果的な広報活動により、ドッグセラピー事業への関心を高めていただいている」との発言があった。

(3) 現場執行力の維持向上に向けた術科訓練の推進

警務部長から、現場執行力の維持向上、警察官の受傷事故防止を目的とする総合対処法訓練等、術科訓練を推進した旨報告があった。

委員から、「現場では危険を伴うことも多い。訓練を反復継続して行い、体にしみこませることも大事である」との発言があった。

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種状況

警務部長から、県警職員の新型コロナウイルスワクチン接種状況について報告があった。

委員から、「警察業務の特殊性もあり、可能な限りの職員の接種を進めていただきたい」との発言があった。

(5) 令和3年上半期の特殊詐欺の現状と抑止対策

生活安全部長から、令和3年上半期の特殊詐欺の現状及び抑止に向けた取組について報告があった。

委員から、「特殊詐欺に関しては、判別困難なメールが届くことも多い。引き続き、広報を効果的に行うなどして、特殊詐欺被害を未然に防いでいただきたい」との発言があった。

(6) 山岳警備救助隊の活動状況

生活安全部長から、山岳遭難の現状や救助出動状況、山岳警備救助隊の活動状況などについて報告があった。

委員から、「救助に当たっては、救助隊のリスクも可能な限り低減させていただきたい」との発言があった。

(7) 現住建造物等放火被疑者の検挙

刑事部長から、6月13日に伊予市内で発生した現住建造物等放火事件の被疑者を逮捕した旨報告があった。

委員から、「ち密な捜査で早期に検挙していただいた」との発言があった。

(8) 官製談合防止法違反等事件被疑者の逮捕

刑事部長から、鬼北町発注の豪雨災害（平成30年7月）復旧工事入札に係る官製談合防止法違反等事件の被疑者を逮捕した旨報告があった。

委員から、「公務員のモラル低下が懸念される事件である。公務員によるこうした事件はあってはならず、引き続き、同種の事件検挙に努めていただきたい」との発言があった。

(9) ドライバー向け「横断歩道安全・安心強化月間」の実施結果

交通部長から、6月1日から30日までの1か月間実施した、ドライバー向け「横断歩道安全・安心強化月間」の実施結果について報告があった。

委員から、「県民に“(歩行者のいる)横断歩道では止まる”との意識がしっかりと浸透するよう、定期的な取り締まりを実施していただきたい」との発言があった。

(10) 監察事案に関する報告

警務部から、監察事案に関する報告があった。

(11) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、令和3年6月末時点の苦情の受理及び処理状況について報告があった。

4 その他

- (1) 7月14日付けで愛媛県公安委員会委員に就任した五葉委員から挨拶があった。
- (2) 本部長から、「熱海の土石流で大きな被害が発生したほか、島根、広島県内における豪雨、県内における道路の冠水も起こるなど、出水期は特に水害のおそれも高まることから、各種備えを万全にしていく」、「八街市の交通事故は各種要因（速度の出やすい道路、通学路、飲酒運転など）が複雑に絡み合っただけ発生した事故であるが、委員説示のとおり、このような事故が発生しないよう、①道路管理者等と連携して道路そのものの安全性を高めていく、②学校、教育委員会等と連携して綿密に通学路点検を実施する、③飲酒運転の危険性を訴え続け、取締りを強化するなどの対策を講じていく」との発言があった。

以 上